

国産比率55%を突破

◇2019年の合板供給◇

2019年の内・外産合板供給量は585万9100立方メートル（前年同期比4・6%減）となり、3年ぶりに600万立方メートルを下回った。国産合板では針葉樹合板が生産・出荷量ともに320万立方メートルを超え、過去最高となった。一方、輸入合板は直近20年間で最低の入荷量となり、特にマレーシアからの入荷量は1995年以来、24年ぶりに100万立方メートルを下回った。このため、内・外産比率は国産が56・7%（同4・3%増）と初めて55%を超えた（主な数量は別表のとおり）。

マレーシア産は100万³m割れ

前回、総供給量が600万立方メートルを下回ったのは2016年だった。この年も国産合板の生産量が300万立方メートルを超える一方、輸入合板は入荷量が当時で過去最低となり、内・外産比率が国産へと逆転した年だった。昨年はこの内・外産の差がさらに拡大した。

輸入合板の入荷量は15年以降、マレーシア・サラワク州での環境問題に端を発した供給不安が発生してから300万立方メートルを下回り、16年には270万立方メートルまで減少。17、18年は290万立方メートルが続き、入荷量の減少に歯止めが掛かったように見えた。

しかし、昨年は産地価格が高止まりするなかで国内市場は停滞し、流通各社が手当てを手控えたことから入荷量は低水準で推移。月間入荷量が20万立方メートルを下回る月が4回も出て、年間入荷量も250万立方メートルまで減少した。18年と比べる

と13・3%減になり、1・5カ月分の入荷がなかったに等しい減少幅となった。特にマレーシアは87



FSC
FSC® C121389



SGEC
SGEC/31-31-1007
【緑の環境】

集成材

お問い合わせ下さい

TSC 株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>

19年12月の合板供給・出荷

単位:1000m³、%

区分	12月	前年 同月比	1～12月分	前年 同期比
国産合板	279	105.5	3,324	103.3
針葉樹合板	269	106.7	3,200	103.6
針葉樹構造用	248	106.4	2,971	105.2
輸入合板	216	94.8	2,535	86.7
マレーシア	76	108.3	874	82.4
インドネシア	64	78.2	869	88.9
中国	58	103.3	594	92.6
その他	16	82.4	194	80.7
合計	495	100.6	5,859	95.4
国産合板	274	101.9	3,373	105.8
針葉樹合板	262	101.8	3,232	106.1
針葉樹構造用	240	99.7	2,971	105.2

※国産針葉樹合板は、全針葉樹合板のみ
※日本合板工業組合連合会資料を基に作成

国産合板は、昨年5月末に新栄合板工業大分工場とキーテック山梨工場の2カ所が操業を開始した。構造用合板へのおう盛な需要と、針葉樹フロア合板を中心とする非構造用合板の需要が続いて広がったため、生産、出荷はともに18年を上回った。特に昨年10月には針葉樹合板の生産量28万6100立方メートルに対して、同月の出荷量が29

万4400立方メートルとなり、どちらも月間の生産・出荷量としては過去最高となった。国産合板全体で見ても、出荷量が30万立方メートルを超えた月が3回出ている。針葉樹合板の在庫量も増減は繰り返したが、18年のように20万立方メートル近くまでたまることはなかった。特に後半は出荷量ベースで0・4カ月分を下回る時期が続き、合板工場によつては生産したものをすぐに出荷する状態になった。今年に入ってから在庫は少ないままで、各社では需要が落ち着いた段階で在庫量を回復させる姿勢だ。